

アルミ  
相場アルミ輸入増加、慢性的ひっ迫で  
中国の景気対策などが左右か橋本金属  
アルミ橋本健一郎氏リポート②

## ■概況

九月前半はアルミLME在庫が二〇一三年末の五四五万トンから現在までに一二％減少し四八〇万トンまで低下。LMEアルミ価格も二、一〇〇ドルを超え一八カ月ぶり高値HITしたこと、七月の米建設支出は前月比一・八％増加、予想の二％増加を上回ったこと。また欧州中央銀行(ECB)が予想外の利下げを実施、量的緩和を決定したことなどの好材料もあったが、中国の八月の製造業購買担当者景気指数(PMI)が政府五一・一と民間五〇・二の両指標で前月から悪化したこと、中国の生産者物価指数(PPI)が、前年比二・二％低下、予想の一・一％低下を下回ったこと。八月の中国CPIは前年比二・二％上昇、予想の二・二％上昇を下回ったこと。米週間新規失業保険申請件数は三一・五万件に増加、予想の三〇・五万件を上回ったことからDOWN、九月十五日時点、九五九ドル(現物後場買値)と月初価格から一二・二ドル下げての前半締めとなった。

後半は九月の中国HSBC製造業PMI速報値は五〇・五に上昇(予想は五〇)したこと、米週間新規失業保険申請件数は二九・三万件に増加、予想は二九・六万件と減少したことから上昇したこと。二十六日発表の四ヶ月期の実質国内総生産(GDP)確定値は、改定値から上方修正され、米景気の回復期待が強まった事などプラス材料もあったが、鉄鉱石、銅、アルミなどの商品現物担保の不正融資で、中国外為規制当局、一〇〇億ドル近い虚偽貿易取引が発覚したこと、米国、湾岸諸国とともにシリアのイスラム国拠点に対し空爆実施したこと、香港の政情不安から下落、十月一日現在LME(現物後場)一、九四一・五〇ドルと後半スタートから一八ドル下落してのスタートとなった。

## ■前月の経済指標

## ◆月間のドル/円レート(TTS)

一〇五・二〇→一〇一・四五(円)

## ◆自動車生産台数

日本自動車工業会によると、自動車生産台数は前年比六・七％減の六三万四、七七七台であった。

## ◆自動車販売台数

日本自動車販売協会連合会によると、自動車販売台数(軽除く)は前年比二・八％減の三万五、三二六台。

## ◆新設住宅着工戸数

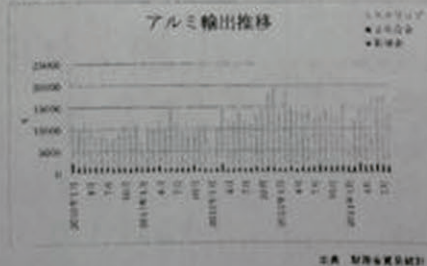
国土交通省統計によると、新設住宅着工戸数は前年比一二・五％減の七万三、七七二戸であった。

## ◆貿易関連指標

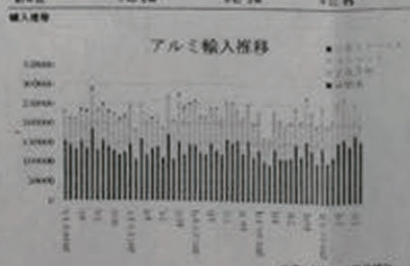
財務省貿易統計によれば、アルミ輸出はアルミ新地金が前年比一九％増の一八八、二次合金が二六・二％減の一、五四、スクラップが九・六％増の一、六六四。輸入は新地金が前年比五・八％増の一五、五六三、二次合金が四・九％増の九、三〇六、スクラップが八・〇％増の一、〇三、合金スクラップは三・九％増の五、七三三。

## ■前月の国内指標

|       | 6月      | 7月      | 8月      |
|-------|---------|---------|---------|
| 新地金   | 218 t   | 143 t   | 188 t   |
| 前年比   | +96.6%  | +7.3%   | +18.7%  |
| 二次合金  | 1588 t  | 1518 t  | 1594 t  |
| 前年比   | +57.4%  | +28.3%  | +25.2%  |
| スクラップ | 1,255 t | 1,609 t | 1,664 t |
| 前年比   | +19%    | +68.1%  | +3.3%   |



|         | 6月        | 7月        | 8月        |
|---------|-----------|-----------|-----------|
| 新地金     | 14万3372 t | 17万3127 t | 15万4567 t |
| 前年比     | +26.5%    | +50.5%    | +1.8%     |
| 二次合金    | 8万8749 t  | 8万8872 t  | 9万1200 t  |
| 前年比     | +18.2%    | +3.4%     | +1.9%     |
| スクラップ   | 806 t     | 1115 t    | 1181 t    |
| 前年比     | +31.4%    | +38.8%    | +9%       |
| 合金スクラップ | 4007 t    | 5811 t    | 5713 t    |
| 前年比     | +42.8%    | +47.2%    | +12.8%    |



日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば、板類・押出生産合計は前年比五・一％増の一四万九、四四一。

日本アルミニウム合金協会発表のアルミニウム二次合金・同合金地金等生産実績は、前年比四・六％減の六万〇、〇一七であった。(六面へ続く)



(四面より続く)

■見通し

八月の四輪車生産台数は六三、四四七台で、前年同月の六八、〇五八台に比べ四、五八四台、六・七％の減少となり、二カ月連続で前年同月を下回った。

八月の国内需要は三三万三、四七二台で、前年同月比九・一%の減少であった。うち乗用車二八万一、三三六台で前年同月比九・五%の減少、トラック五万一、一六五台で同七・二%の減少、バス九八〇台で同五・二%の増加。輸出は前年同月比八・一%の減少（実績）。

九月の國內自動車販売台数（軽は除く）は三二万五千三百六十台前年比二・八％減、二カ月連続マイナス内、乗用車五・五％減、貨物一六・五％増、バス一九・七％増、八月の住宅着工戸数は七万三千七百一戸（前年同月比比二二・五％減、季節調整済年率換算値で八四・五万戸（前月比〇・七％増、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動もあって、実数では前年同月比で減少している。一方、季節調整値では、前月より若干の増となった）。持家（注文住宅）の着工については、昨年十月からの受注減により、本年二月から前年同月比で減少している。分譲マンションの着工については七カ月ぶりに一万戸を超えたものの、本年二月から前年同月比で減少している。

(持家)  
前年同月比では七カ月連続の減少（前年同月比二・七％減、季節調整値の前月比三・一％増）。

(貸家)  
前年同月比では二カ月連続の減少(前年同月比三・八%減、季節調整値の前月比〇・四%減)。

前年同月比では七カ月連続の減少（前年同月比二・三％減、季節調整値の前月比二・五％減）。

(分譲マンション)  
前年同月比では七カ月連続の減少(前年同月比六・八%減)。

(分譲)戸建住宅  
前年同月比では四力月連続の減少(前年同月比一四  
一%減)

日本アルミニウム合金協会発表のアルミニウム合金・同合金地金等生産実績は、前年比四・六%減の六万〇、〇一七トであった。出荷は六万〇、九七五トの三・三

アルミ圧延・押出品生産数は五・一％増の二四万九  
四四一と二二カ月連続プラス。

(一) 缶材三万五、八六〇トン(〇・三%)  
八月のビール系飲料の販売数量は前年同月比で減少  
(主)コトヒト缶の増加等により、三

(2) 自動車 一萬〇、一六四ト(三・六%)

(3)輸出一萬二、二六〇(二五・〇%)  
毎外工場を立ち上げる庄延メーカ一の素条輸出の増

(1) 建設三万五、四二〇、(一一・三%)減

新設住宅着工戸数の減少を憂へ、二カ月連続でマイナスイ（七月の着工戸数七万二、八八〇戸、前年同月比一四・一％減）。

(2) 自動車九七五四ト(一・二%減)

トラック・バス向けは好調であつたものの(前年同月比二・八%増)、自動車全体では一カ月連続でマイナス。アルミ輸出は新地金が前年比一八・九%増の一八八ト、二次合金が二六・二%減の一、五四ト、スクラップが九六%増の一、二、六六四ト。

輸入は新地金が前年比五・八%増の一五万六、五六  
三、二次合金は四・九%増の九万一、三〇六、スク  
ラップは八〇%増の一、一〇三、合金スクラップは三  
二・九%増の五、七三二。

【見通し】・自動車は生産が前月に続き減少の六・七％減。また九月の国内販売台数も前年比二・八％減と悪化。販売の減少が続くメーカーもそれに伴い生産を調整した。また輸出はかろうじてプラスであり、アメリカの更なる景気回復からの需要増に期待したい。

・新設住宅着工数は前年比一四・一％減、季節調整後前年の駆け込み需要も終了。六月月連続減少。ただし季節調整済換算では若干プラスであり、今後の動向に期待する。

・二次合金 自動車生産の減少を受けて、生産荷とも相変わらず減少。今後大幅な改善は期待できないが大幅な悪化もないとの見解

・アルミ缶・押出品生産数  
押出しはよくないものの、板がボトル缶コーヒ、各  
が輸出で増加しており今後もの傾向が続くとの見解

・輸出  
新地金 スクラップは円安によつて国内より高くな  
た品種がでて輸出品が増加

自動車生産台数の高止まりをうけての慢性的な原料不足から急増

【価格・為替予想】  
今月は中国の景気対策及び、香港・デモへの対応に注

中国の楼繼偉・財政相は二十一日、豪ケアーズで開催された二〇力国・地域(G二〇)財務相・中央銀行行長会議で、中国はある一つの経済目標を理由に、政策

大幅に変更する」とは、ないとの姿勢を示し、中国人民  
行(中央銀行)も声明で明らかにしたところから、規制  
的な小規模な対策であるが、大規模な景気対策が

香港デモに関しての予想は第二の天安門事件が起る可能性もあるし、首謀者が見せしめて逮捕される可能性は低い。

トーンダウンする可能性もある。ただし香港デモ隊の求が一〇〇%通る可能性は低い。それらを踏まえた十月のアルミ価格は、中国が大

模範財政出動などの景気対策を行い、香港デモ隊と  
り合いが平和的だった場合、九月高値のもう一段高  
二、二〇〇ドルを予測、いずれの場合も二、一〇〇

ル。下値はいずれの条件も達成できなかった場合もう  
段安値の一、八〇〇ドル。  
為替はECBが予想外に政策金利を引き下げた上